

価値創造フロー

住友化学は、住友の事業精神をはじめとする企業理念に沿って、100年以上にわたり事業を成長させてきました。肥料会社から化学会社へ、そして総合化学企業へと発展を遂げる中で、当社の核となる強み、つまりコア・コンピタンスを確立しました。このコア・コンピタンスと6つの経営資源を経営資源として最大限活用し、「経営として取り組む重要課題」や「中期経営計画」に取り組むことによって、社会のさまざまな課題を解決するとともに当社の企業価値の向上を実現します。そして、そこで新たに生まれた経済価値、社会価値をまた当社の経営資源として蓄積し、持続的な成長を目指します。

経営資源の蓄積

社会価値の創出



環境

地球環境回復と
人と自然が共生する
世界の実現



食糧

食糧の安定確保と
環境との調和の実現



ヘルスケア

世界中の人々の
健康的な生活の確保



ICT関連

ICTを活用した
包摂的な社会の実現

経営資源

コア・コンピタンス

幅広い技術基盤を活かしたソリューション開発力

グローバル市場へのアクセス

エンゲージメントの高い多様な人材

経営資本

財務資本

連結総資産額
39,348億円

→ 連結財務諸表

製造資本

研究・製造拠点数
国内:**12**拠点
海外:**72**拠点*

※販売拠点を含む
→ 労働安全衛生・保安防災
(サステナビリティレポート)

知的資本

保有特許数
14,952件

→ イノベーションの推進

人的資本

連結従業員数
32,161名

→ 人材マネジメント
(サステナビリティレポート)

社会・関係資本

様々なステークホルダー
とのエンゲージメント

→ ステークホルダーとの
コミュニケーション
(サステナビリティレポート)

→ IR活動

自然資本

持続可能な
資源の利用

→ 自然資本の持続可能な利用
(サステナビリティレポート)

事業活動

中期経営計画

2022-2024年度中期経営計画

Change and Innovation with the Power of Chemistry

基本方針

- 事業ポートフォリオの高度化 (事業の強化と変革)
- 財務体質の改善
- 次世代事業の創出加速
- カーボンニュートラルへ向けた責務と貢献
- デジタル革新による生産性の向上と事業強化
- 持続的成長を支える人材の確保と育成・活用
- コンプライアンスの徹底と安全・安定操業の継続

経営として取り組む重要課題

社会価値創出に関する重要課題

- 環境分野への貢献
- 食糧分野への貢献
- ヘルスケア分野への貢献
- ICT関連分野への貢献

将来の価値創造に向けた重要課題

- イノベーションの推進
- DXによる競争力強化
- 人材(DE&I、育成・成長、健康)

事業継続のための基盤

長期的に目指す姿

Innovative Solution Provider

社会課題をイノベティブな
技術で解決する企業

経済価値の創出

財務目標

KPI	2023年度 業績	2024年度 予想	目指す姿
ROE	-29.2%	2.1%	10%以上
ROI	-16.1%	0.9%	7%以上
D/E レシオ	1.3倍	-	0.7倍程度
配当性向	-	73.6%	30%程度

新事業部門のコア営業利益長期目標

成長 ドライバー	アグロ&ライフ ソリューション	1,000億円 (2030年)
	ICT&モビリティ ソリューション	1,000億円 (2030年)
新成長領域	アドバンストメディカル ソリューション	1,000億円 (2035年)
基盤領域	エッセンシャル& グリーンマテリアルズ	

当社のルーツ

- 住友の事業精神
- 住友化学の経営理念
- サステナビリティ推進基本原則
- 企業価値向上の考え方
- 住友化学の企業理念

経営資源の蓄積